

Ⅲ 令和7年度に向けて

i 成果と課題

令和7年度入学生から新学科「未来共創科」を開設するに至ったこと、開設予定の学校設定科目を企業の方と連携しながらかなりの内容を定めることができたことは令和6年度中の大きな成果と言える。グローバル・ラボにプログラミング領域を開設することや、「情報Ⅰ」における地元企業との共同授業については令和6年度に実現に至らなかったが、現在実施を計画しており、令和7年度において実現を目指す。また生徒の実態に応じた評価のあり方について、研究をすすめていきたい。

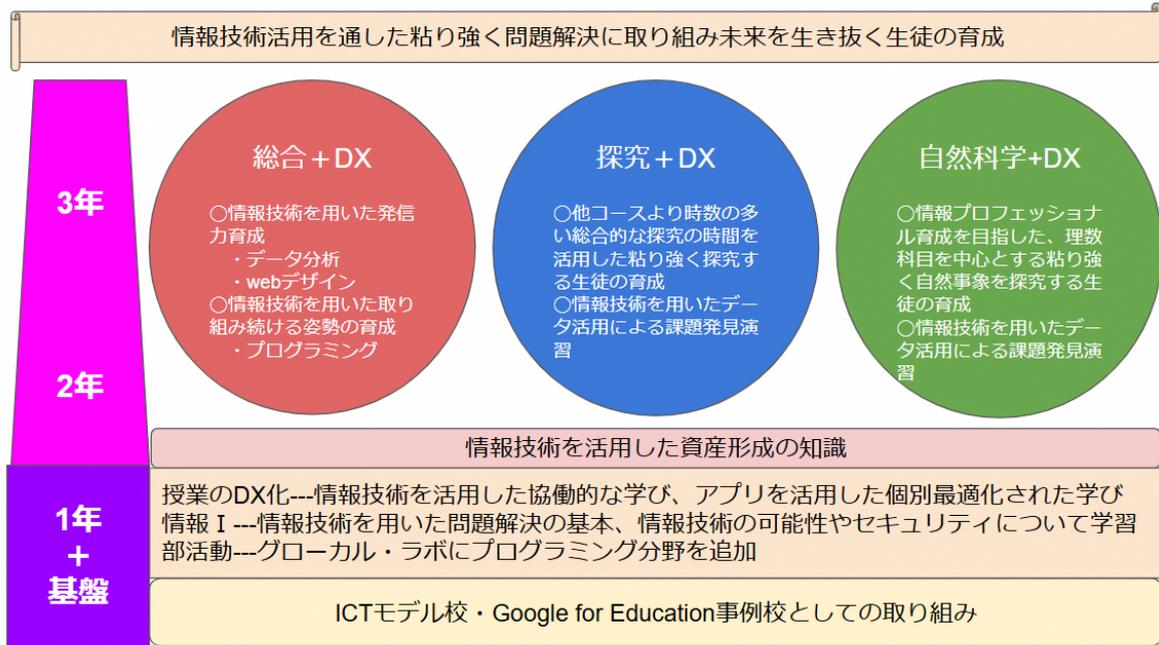
ii 今後に向けた構想

高校魅力化コンソーシアム [(一財) つわの学びみらい (以下 財団)] の理事長が本事業のコンソーシアムマネージャーを務めることとなり、今後もこの「財団」のサポートを得ながら人と財源の確保に取り組んでいく。今年度の研究を進める中で町内IT企業5社が学校設定科目の構築に深く関わってきており、次年度以降も学校や財団とともに学校設定科目の展開を行っていく。また、教職員全員が共通理解を持って学校として本研究に取り組んでいくため、教職員向けのデータ活用の研修を行ったり、以下の資料を用いて職員会議にて説明をした。学校設定科目だけではなく、他の授業や探究活動、課外活動、日々の学校生活でも情報活用能力が各活動の深まりに貢献できるように、今後も教職員研修を続けていきたい。

【令和7年2月20日（木）職員会議配付資料】

島根県立津和野高等学校普通科改革支援事業+DXハイスクール事業の概要		2025.2 普通科改革担当
令和6年度 of 取組—改革の土台作り		
<p>新学科名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新学科名を「未来共創科」とし、学校と行政、企業が協働して社会に開かれた教育課程の編成を目指す。 ・情報活用能力を、教科学習、探究学習の基盤として育成するとともに、デジタルに興味を持った生徒の可能性を伸ばす。 	<p>学校設定科目の選定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2年次に3つのコース全てを対象として、データサイエンス（データを分析して課題発見や解決に取り組む）授業、3年次の総合コースの選択授業としてアプリ開発、自然科学コース全員にPythonを使った機械学習モデルの授業を実施する。 	<p>連携企業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・株式会社さとくらし、タイムカプセル株式会社、株式会社Nex-E、バルトソフトウェア株式会社、株式会社ADDRESSと連携する。 ・島根県労働商工部産業振興課と、「情報Ⅰ」の授業や人材育成での連携を実施する。
デジタル教材の整備—カメラ、ビデオカメラ、MacBookなどの機材を順次HAN-KOHに整備←生徒が創作活動できる環境		
令和7年度の計画—新学科始動		
<p>デジタルへの期待</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新学科生を主な対象として、連携企業の社員の方を講師とする「働き方リレー講座」を実施し、職業に対する興味関心を高める。 ・年に数回、「情報Ⅰ」の授業に外部講師を招き、授業で学んでいる内容の実際の活用について学ぶ。 	<p>学校設定科目の詳細</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各教科より選出された担当者と、授業を担当する企業が協働し、学校設定科目の各単元の内容や教材作りを進める。 ・上記の連携が円滑に進むように、校内での会議を定期的実施することで情報共有を図る。 	<p>新設デジタル活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・購入したデジタル機材を用いた動画作成やプログラミングなどの創作活動を後押しし、コンテスト等への積極的参加を促す。そのために、地元企業より講師を招く。 ・ITパスポート等のデジタル系資格試験に挑戦できる環境を整える。

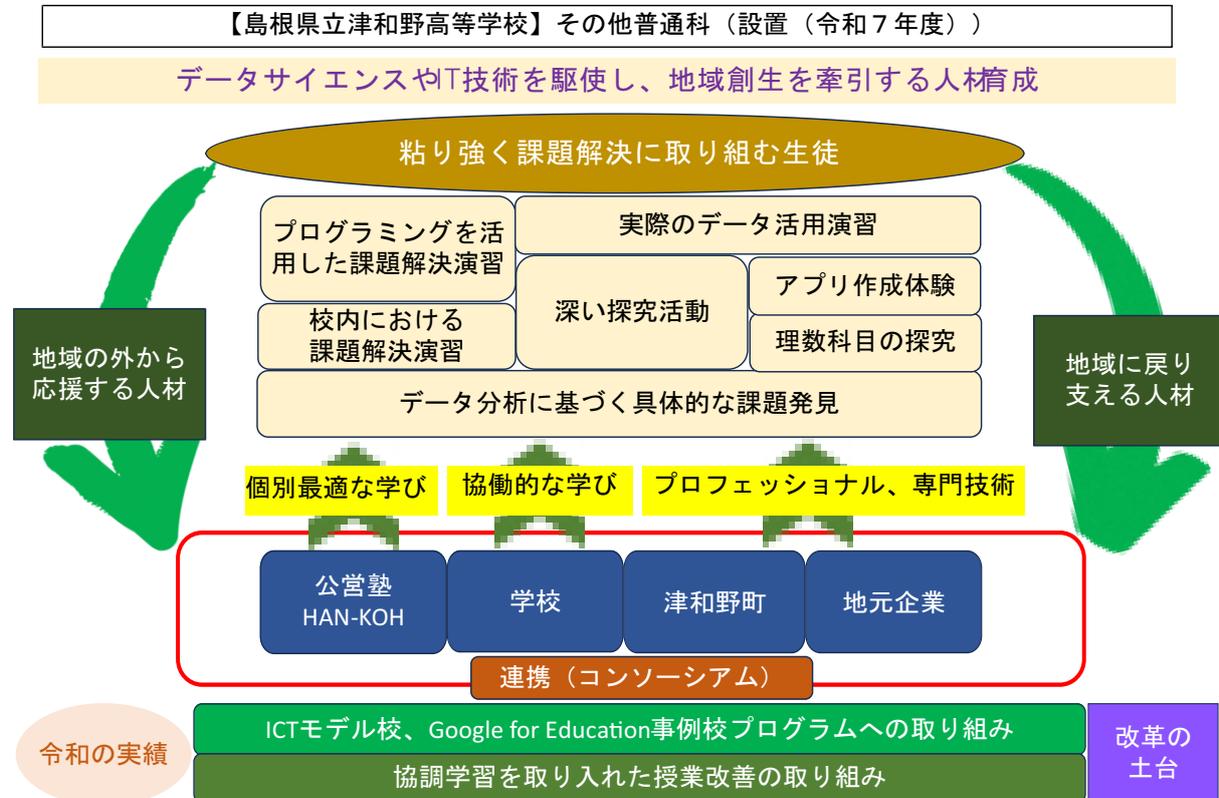
資料：申請前の構想図



資料：申請時の構想図

管理機関名 島根県教育委員会

令和6年度 新時代に対応した高等学校改革推進事業（普通科改革支援事業）



資料：学校説明資料

令和6年度学校訪問

ようこそ 津和野高校へ



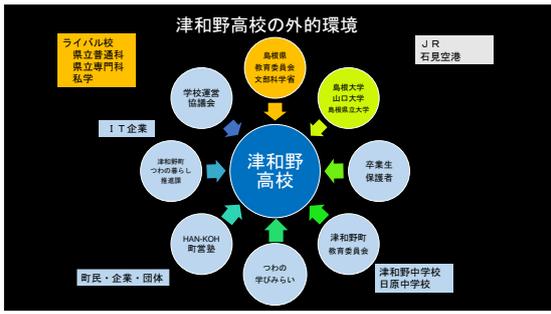
目次

1. 産学官民との連携
2. 過去・現在・未来
3. グランドデザイン
4. 新学科名
5. 最後に

津和野高校と津和野町の取組

年	事業等	主管団体
H25	高校魅力化コーディネーター配置	町
H26	町営英語塾HAN-KOH開設	町
H30.3	「O 歳児からのひとつりプログラム」策定	町
H30	小中学校へ教育魅力化コーディネーター配置	町
R2-R3	ICTモデル校事業	高校(県)
R2	保小連携コーディネーター、幼児教育コーディネーター配置	町
R3.1	一般財団法人つわの学びみらい創立	町
R3.4-R6.3	COREハイスクール・ネットワーク構想	高校(国)
R4.4	新学習指導要領実施 全新生ICT機器購入	高校(国) 高校(県)
R6.4	普通科改革支援事業	高校(国)
R6.4	DXハイスクール事業	高校(国)

津和野高校の外的環境



外的環境のポジティブ要素

島根県教育委員会 文部科学省	・普通科改革支援事業(470万円) ・DXハイスクール事業(1000万円)
島根大学 山口大学 鳥取県立大学	・探究学習での講師・伴走 ・生徒の進路先
卒業生 保護者	・寄付(正徳寮・体育館エアコン・学習机) ・PTA会計等(教材・生徒会・部活動・連絡・施設設備管理)
津和野町教育委員会	・コンソーシアムの運営
つわの学びみらい	・魅力化事業の資金管理と魅力化コーディネーターの派遣 ・探究学習プロジェクトのコーディネート
HAN-KOH町営塾	・無料で英語指導 ・ツワノセカイによる課外活動支援
津和野町つわの暮らし推進課	・IT企業への連携 ・生徒募集における東京事務所の使用

昭和平成の教育課題

知識 偏重	興味・関心 学ぶ意味	
詰め 込み	思考・判断・表現 主体性 創造性	

ツコウの魅力化

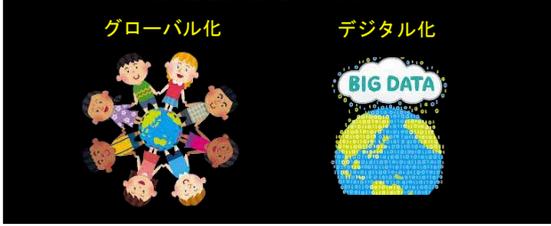
「教科学習」 + 「探究学習 T-PLAN」

- 生徒自身が探究テーマを決める
- 学びそのものへの前向きな姿勢を持ち続ける
- 学びの質が高まる
- 自分自身が何に没頭できるのかを知るきっかけづくり
- 自分が役立つことを知る
- なぜ勉強しないといけないの？がわかる
- 地域課題の当事者になる
- 自己決定力
- 主体性・継続性
- 探究性
- 自分探し・進路選択
- 自己有用感
- モチベーション
- ふるさと愛⇒定住

普通科改革支援事業

補助費：470万円

グローバル化 デジタル化



普通科改革支援事業 挑戦

カリキュラム開発 実施体制の開発

月	1	2	3	4	5	6
1						
2						
3						
4						
5						
6						

「未来共創科」
普通科の枠組みの中で新学科を設置

普通科改革支援事業

新しい時代に
対応した
教育改革

未来共創科

地域共創科 ミライデザイン科 地域探究科

普通科 普通科 普通科 普通科 普通科 普通科

普通科 普通科 普通科 普通科

普通科 普通科 普通科 普通科

普通科 普通科

DXハイスクール事業 補助費：1,000万円

デジタル等成長分野を支える人材育成
情報、数学等の教育を重視するカリキュラム
ICTを活用した**文理横断的な探究的な学び**
 生徒の興味関心を高める**デジタル課外活動**

ICT機器整備 (ハイスペックPC、3Dプリンタ、動画・画像生成ソフト等)
 遠隔授業を含む**通信機器整備**
専門人材派遣

グランドデザイン

学校教育目標
 「世界で活躍する人を津和野町で育てる」

グランドデザイン

スローガン

「やってみたい」を「やってみる」、自分らしく、だれかのために

グランドデザイン

スローガン

「やってみたい」を「やってみる」、自分らしく、だれかのために

津高グローバル・ラボ
 ×
 三松堂 (地元の和菓子屋)

グランドデザイン

学校経営方針

生徒そして地域の笑顔と幸せにつながる学校づくりを目指す

グランドデザイン

育てたい生徒像

「未来社会の創造に仲間と協働して主体的に挑戦しようとする人」

グランドデザイン

カリキュラム・ポリシー

夏の大三角形と天の川

新しい時代に対応した教育改革

★ 教科学習

★ 情報活用力

★ 発信力

★ 多様性活用力

★ 自己決定力

★ 共感力

★ 探究学習

★ 情報活用 (データ・デジタル・ICT)

津和野盆地

津和野町 HAN-KOH塾 つわの学びみらい 地元企業

グランドデザイン

育てたい資質・能力

情報活用能力

グランドデザイン

育てたい資質・能力

共感力

グランドデザイン
育みたい資質・能力

多様性活用力

個別最適化した進路支援を目指すコース制

進路希望に合わせて2年生からコースに分かれる

総合	探究	自然科学
基礎から幅広く学び、実習を通して教養を身につける。	総合的な探究の時間を手厚くし、大学との連携による学術的な探究学習を行う。	理系進学に対応するため少人数できめ細かい指導をする。

3コースの情報系学校設定科目

	総合	探究	自然科学
2年次	総合的な探究 (2単位)	数科学習	数科学習
+	情報活用 (3単位)	総合的な探究 (4単位)	総合的な探究 (2単位)
3年次	プログラミング応用 (*3単位)	データサイエンス実践 (2単位)	プログラミング発展 (1単位) データサイエンス実践 (2単位)

単位数の前にある「*」はコース内選択科目であり、専攻科の科目はコース内での必修科目

新学科名

未来共創科

未来共創科

■「趣意書」

現代社会においては、グローバルな課題とローカルな課題をつなぎながら世界と地域が共に持続可能な社会創りに向けて行動していくことが期待されています。これまで津和野高校は普通科高校として町内・県内・県外からの多様な生徒を受け入れ、津和野町役場・一般財団法人つわの学びみらい・町内の方々の世代を超えた多様な大人の協力を得て、「総合的な探究の時間」において地域における探究学習を推進してきました。これからの津和野高校は、普通科の枠組みの中で教育課程においては数科学習と探究学習とともに情報活用をカリキュラムの柱の一つとして位置づけ、社会に開かれた教育課程の編成のさらなる充実を目指し、産学官民との連携を強化して世代や地域を越えて多様な関係者と連携しながら、未来を共創していく人材の育成を目指していきます。

ダーウィンの言葉

変わることができる者だけが生き残ることができた。



未来の普通科を目指します




普通科改革支援事業
×
DXハイスクール事業

ツコウがシン化します

ツコウとは津和野高校の愛称です

島根県立津和野高等学校
学校案内2025（追加配布版）

文部科学省指定

普通科だけど普通科じゃない!?
普通科の枠組みの中で新学科を設置します 01



Vision

津和野高校は地域の普通科高校として歩んできました。近年は高校魅力化の一環として地域での探究活動にも力を入れ、普通科で学ぶべき教科学習に加え地域における課題解決能力を備えた人材育成に取り組んできました。

現代社会は少子高齢化による人口減少が重大な課題になるとともに、社会のグローバル化とデジタル化が急速に進展し、人々の生活様式や価値観が大きく変化してきています。

このような時代の変化を受けて、次なるツコウの目標は、デジタル思考やIT機器を活用して、課題発見と解決に粘り強く取り組む人材育成です。デジタル技術を上手く活用して諸課題の解決に取り組めることが、今後の豊かな社会の担い手に求められる資質であると考えています。

これまでのツコウの教育に加えて、2つの文部科学省の事業を活用し、地域や企業の方の協力を得ながら先進的な学びを提供できるシン化した普通科を目指します。

新化・進化・深化する
津和野高校

02

Curriculum




3つのコース（総合、探究、自然科学）は継続し、それぞれのコースに新時代に対応した学びの要素を加えます。

Curriculum 【 】内は新しく設置予定の科目です（全て仮称）

総合	<p>【情報活用】<2年次、3単位> 色んなデータ（インターネット上にあるものや自分たちで収集したもの）を分析し、地域の課題を発見し発表する演習を行います。</p> <p>【プログラミング応用】<3年次、3単位、コース内選択科目> プログラミング言語を用いて、スマートフォンなどの身近な端末で使え、収益を上げられるようなアプリ開発の実践演習を行います。</p>
探究	<p>【データサイエンス実践】<3年次、2単位> 津和野町の産業についてのデータやRESASなどを活用し、地域課題についての共有と提案の実践を行います。</p>
自然科学	<p>【プログラミング発展】<2年次、1単位> プログラミングによるロボット操作演習を通して、問題解決能力の育成を行います。</p> <p>【データサイエンス実践】<3年次、2単位> 探究コースと同じ内容です。</p>

03

よくある質問

高校入試は？

令和7年度入学生から「新しい普通科」（仮称）として募集しますが、昨年度公表した令和7年度の入試内容に基づいて入学者選抜を実施します。

進路は？

新しい普通科に変わること、高校卒業後の進路選択の幅が広がると考えます。これまでの教科学習と探究学習の深化に加え、デジタルスキルを身につける進化したカリキュラムを設計し、3コース制を維持しながら、進学にも就職にも対応します。

メリットは？

新しい学びの要素を加えた普通科になりますので、小中学校では気付かなかった自分の可能性を見つけられたり、校外の様々な方と交流する中で新たなスキルを身につけられたりします。

なぜデジタル？

インターネットなどのデジタル技術は現代の生活に不可欠なものになり、私たちは膨大なデータに時と場所を選ばず触れることができます。そのため、デジタル技術について学んでおくことは、生活をより豊かにするために必要です。また、デジタル技術は地理的なハンディを克服します。津和野町から最先端の学びができ、自己実現と産業振興のチャンスが広がると考えています。

学科名は？

島根県教育委員会が令和6年9月頃発表します。新しい科目を含む教育課程表も同時期に本校より発表します。



島根県立津和野高等学校 グランドデザイン 【令和7年度】

学校教育目標：『世界で活躍する人を津和野町で育てる』
 スローガン：『「やってみたい」を「やってみる」、自分らしく、だれかのために』
 学校経営方針：『生徒そして地域の笑顔と幸せにつながる学校づくりを目指す』

グラデュエーション・ポリシー（育てたい生徒像）

未来社会の創造に仲間と協働して主体的に挑戦しようとする人

育てたい資質・能力

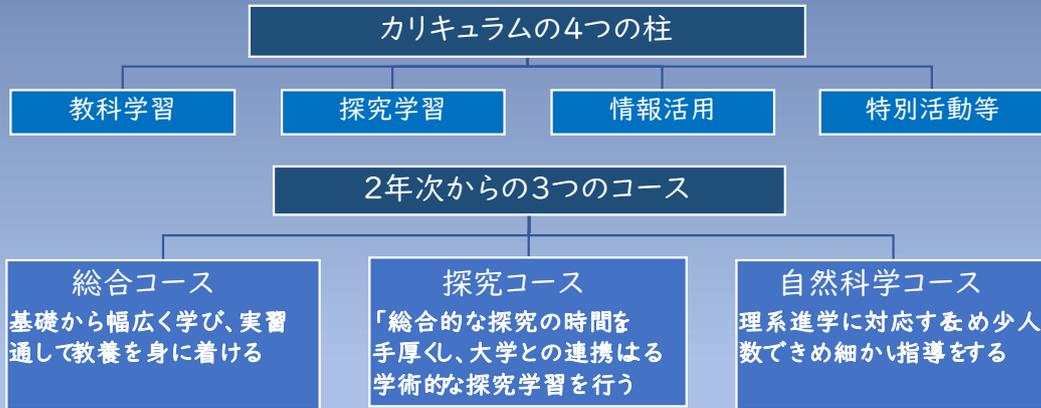
基礎力 自他の心身の健康 知識・技能 情報活用能力	課題発見力 知的好奇心 共感力 思考判断力	課題解決力 創造力 協働性 多様性活用力	社会情緒的能力 表現力 対話力 発信力	キャリア探究性 自他理解 自己決定力 粘り強さ
---	---------------------------------------	--------------------------------------	-------------------------------------	---

カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成・実施に関する方針）

普通科(2・3年生)・未来共創科(1年生)：
 両学科において普通科の枠組みの中で、新しい時代に対応した普通科教育改革に挑戦します

カリキュラムの特徴：情報活用では、データ活用力とデジタル技能を未来の担い手の基盤となる能力として育成し、教科学習と探究学習の深化に応用していくことを目標とします

カリキュラム開発を支える文部科学省の2つの事業：『普通科改革支援事業』と『DX/ハイスクール事業』



アドミッション・ポリシー（求める生徒像）

- | | |
|-----------------------------|-----------------------|
| (1) 学びを大切に、学びに本気で向かう姿勢を持つ生徒 | (2) 自律心を持ち、自他を大切にする生徒 |
| (3) 社会との関わりに興味関心を持っている生徒 | (4) 向上心を持ち、成長しようとする生徒 |

津和野町での学びの土壌

「津和野町役場」「つわの学びみらい」「津和野町のひと・もの・こと」「津和野町の関係人口のひと」
 「津和野町の企業・事業所・団体」「津和野町の幼保小中」「町営塾HAN-KOH」「PTA」「卒業生」
 「学校運営協議会」「島根大学・島根県立 大学」「県教育委員会」「文部科学省」

資料：地元向け説明会新学科説明資料

ツコウは 未来の普通科になります

- 文部科学省指定
普通科改革支援事業×DXハイスクール事業



令和7年度入学生より | 予算1,470万円

将来、楽しい毎日を充実させるためには？

01 教科の学習 小学校から学んでいる各教科は、日常生活で大切です。	02 探究的学習 自分の持っている課題を解決できると、さらに日々が充実します。	03 本校独自 情報活用 身近にあるインターネットを活用すると、生活が豊かになります。
---	--	---

ツコウではこの3つの学びに取り組みます。



情報活用って何をやるの？

インターネットなど
色々な情報を集めます

クラスメイトと協同で
集めた情報をつなげます

新しい発見



情報活用ができるとなぜ充実する？

情報がつなぐと生活が豊かになります

スマートフォンのような端末があれば、どこからでもたくさんの情報を得ることができるようになりました。その中から信頼できる必要な情報を集め、繋げると新たなことに気づいたり、課題の解決方法を発見したりできるのです。これから生活していく上で、役に立つ力を身に着けます。



データの活用その他

プログラミングも扱います

自分が想定しているようにロボットを動かしたり、アプリを開発するためには試行錯誤が必要です。そのような活動を通して、粘り強く問題解決に取り組む姿勢を育成します。



地域との連携

地元IT企業様と共同でカリキュラム開発をします

情報活用のカリキュラムを作成するためには、専門的な知識が必要です。そこで、授業の開発段階から企業の方に関わっていただき、実際の授業にも講師をお願いする予定にしています。



充実した未来へ

ツコウで学ぼう

教科学習 探究学習 情報活用



2年次以降の3つのコース

総合コース 様々な教科を広く学習。進学、就職など幅広い進路希望に対応。	探究コース 総合的な探究の時間が2倍（2年次以降）。5教科受験型文系大学進学に対応。	自然科学コース 理数科目を深く学習。理系大学進学に対応。
---	--	--

コースは普通科の時と同じです。



新しく開設する授業（予定）—総合コース

情報活用—3単位（週当たり3時間）
データサイエンスの基本を学び、身近なデータを活用しながら課題発見をしたり、その解決方法を考えたりします。地元企業でのオープンカンパニーも予定しています。

プログラミング応用—3単位（週当たり3時間）、選択科目
プログラミングの基本を学び、ユーザーのニーズに即したアプリ開発を通して、課題解決能力を養います。

新しく開設する授業（予定）—探究コース

データサイエンス実践—2単位（週当たり2時間）
データサイエンスの基本を学び、身近なデータを活用しながら課題発見をしたり、その解決方法を考え、その成果を発表したりします。

総合的な探究の時間—2単位増量（週当たり2時間）、現在と変更なし
他のコースに比べ、総合的な探究の時間が長いことを利用して、より深い探究活動に取り組みます。

新しく開設する授業（予定）－自然科学コース

課題
発表力

データサイエンス実践－2単位（週当たり2時間）

データサイエンスの基本を学び、身近なデータを活用しながら課題発見をしたり、その解決方法を考え、その成果を発表したりします。

転り
読さ

プログラミング発展－1単位（週当たり1時間）

プログラミングの基本を学び、ロボット操作演習を通して、課題解決能力を養います。

Q 他の教科の学びに影響が出るのでは？

学習指導要領での標準単位数は1年30単位です

3年間で90単位。新しい科目以外での単位数は確保しますので、他教科の学びに影響が出るとは考えていません。新しい科目で変わった学びに向かう姿勢が、他教科の学びに良い効果をもたらすことを目指しています。

新しい科目以外での連携も予定しています

新しい科目の単位数は、各コースとも2～3単位（選択科目除く）です。これらの科目以外の部分でも行政・企業との連携を予定しており、幅広い進路選択の一助となることを目指しています。

資料：普通科改革と学校設定科目についての校内説明資料

普通科改革と学校設定科目について

2024.10.
島根県立津和野高等学校 普通科改革担当

学校設定科目の目的①

教科学習や探究活動を下支えする
情報を活用した課題解決能力を身につける

学校設定科目の目的②

デジタル技術に直接触れる経験を通して、
思考や視野の幅を広げる

進路選択
問題解決
技術の裏側
など

本校のコースとの関係

総合 幅広い教養	探究 探究重視文系	自然科学 理系	
情報活用 (3単位)	データサイエンス実践 (2単位のうち1単位) もう1単位は情報の演習	データサイエンス実践 (2単位のうち1単位) もう1単位は情報の演習	目的① 学びの支え
プログラミング応用 (3単位、選択)		プログラミング発展 (1単位)	目的② 経験

デジタル表現を学ぶ
芸術（音楽、美術と
の選択）

探究活動の時間を増
やし、思考を広げる

協力企業

タイムカプセル株式会社
株式会社Nex-e
バルトソフトウェア株式会社
株式会社アドレス
株式会社さとくらし

目的①学びの支え

科目 情報活用（2年次、3単位、総合コース）
データサイエンス実践（2年次、1単位、探究・自然科学コース）

概要 RESASなどの身近なデータや自分たちで集めたデータを基に、地域の課題についての解決策を提案する。

内容

- データ分析のためのコンピュータ操作演習
- データ収集演習
- プレゼンのための資料作成および発表演習
- 地域課題の分析
- 課題解決策についての検討
- 地域課題解決策の発表
- 活動全体を通じた振り返り

情報活用では
オープンカンパニー
を実施予定
(2日程度)

依頼内容

- データ分析、収集のためのコンピュータ操作演習等のご指導
- プレゼンスキル向上のためのご指導
- 課題解決に取り組む生徒の伴走

目的②経験

科目 プログラミング発展（3年次、1単位、自然科学コース）

概要 プログラミングによるロボット操作を体験し、自分の想定通りに動かせるように改良をする。

内容

- ロボット操作のための基本的な技術の習得
- プログラミングの設計および開発
- ロボット操作と問題分析
- プログラミングの改良
- 成果発表（コンテスト実施も選択肢）
- 活動の振り返りと技術についての考察

依頼内容

- プログラミングに関する各種スキルのご指導
- プログラミングの改良に取り組む生徒の伴走

課外活動 1

生徒が自由に活動する場所の設置（HAN-KOH）

- デジタル機材を用意
 - カメラ、三脚、PC、ドローン、ヘッドフォンなど芸術表現機材
 - ディスプレイ
 - ロボット
- 創作活動に必要なアプリを用意
 - 動画編集、画像編集、プログラミング用エディタ
- 課外に生徒が自由に機材が使える管理体制
- 町内中学生も利用可能な体制整備

地域の子どもの可能性を伸ばす

課外活動 2

集団での活動

- 部活動（例：グローバル・ラボ）、セカイ部（HAN-KOH）を対象
- 動画、静止画、プログラミング等の創作活動
- 部活動における自分たちのパフォーマンスのデータを収集し、その改善のための分析活動

生徒に機材利用を促す

資料：島根県立津和野高等学校令和7年度入学生教育課程表

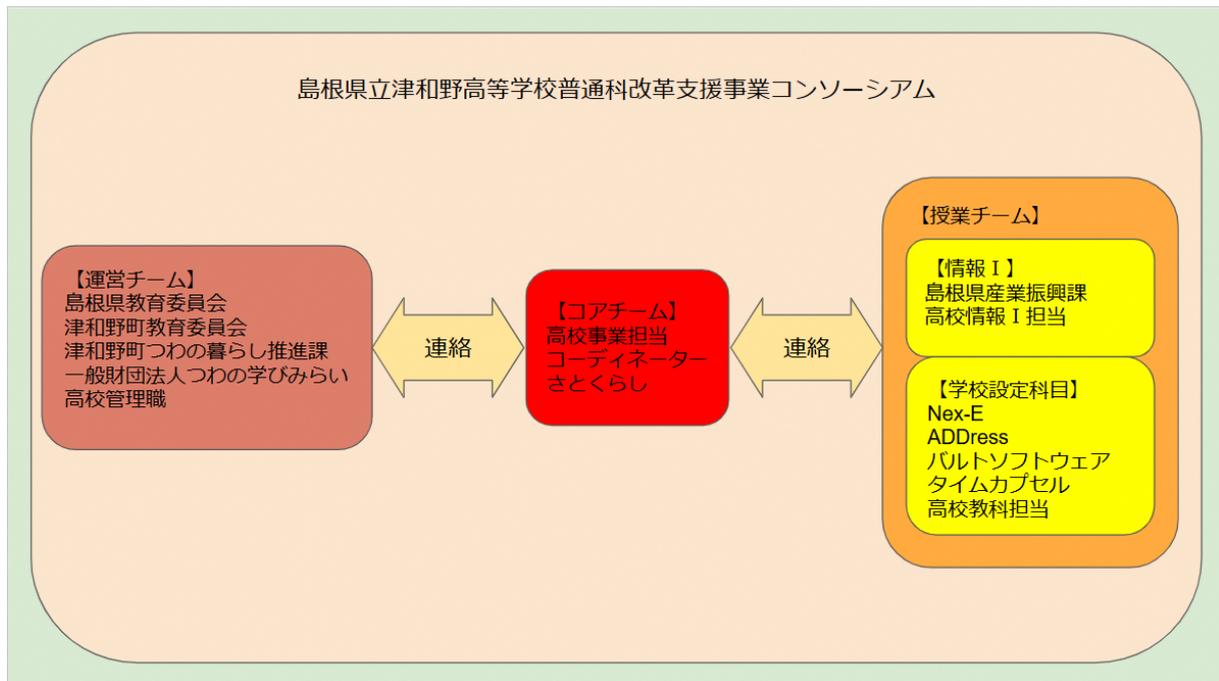
島根県立津和野高等学校 教育課程編成計画表

		課 程		学 科			類 型 の 名 称				
		全 日 制		未 来 共 創 科						令 和 7 年 度 入 学 生	
教科	科目	標 準 単 位 数	1 年	2 年			3 年			単 位 数 の 合 計	備 考
				総合	探究	自然科学	総合	探究	自然科学		
国 語	現代の国語	2	2							2	
	言語文化	2	2							2	
	論理国語	4		2	2	2	2	2	2	4	
	文学国語	4		2	2		3	2		0~5	
	古典探究	4		3	3	1	2	3	3	4~6	
地理歴史	地理総合	2	2							2	
	地理探究	3		2	2	2	2	2	2	0~4	
	歴史総合	2	2							2	
	日本史探究	3		2	2	2	2	2	2	0~4	
	世界史探究	3		2	2	2	2	2	2	0~4	
公 民	公 共	2		2	2	2				2	
	倫 理	2					2	2		0~2	
	公 民 研 究	学校設定科目					3			0~3	
数 学	数 学 I	3	3							3	
	数 学 II	4	1	3	3	3				4	1年次の1単位は数学I履修後の履修
	数 学 III	3		1	1	1	4	4	4	0~5	2年次の1単位は数学II履修後の履修
	数 学 A	2	2							2	
	数 学 B	2		1	1	1	1	1	1	0~2	
	数 学 C	2		1	1	1	1	1	1	0~2	
	数 学 演 習 2	学校設定科目		1	1	1				0~1	2年次の1単位は数学II履修後の履修
	数 学 演 習 3	学校設定科目					4	4	4	4	
理 科	科学と人間生活	2	2							2	
	物 理 基 礎	2		2		2				0~2	
	物 理	4				2			4	0~6	2年次の2単位は物理基礎履修後の履修
	化 学 基 礎	2	2							2	
	化 学	4				2			4	0~6	
	生 物 基 礎	2		2	1	2		1		2	
	生 物	4				2			4	0~6	2年次の2単位は生物基礎履修後の履修
	自然科学研究	学校設定科目					2			0~2	
理 科 演 習	学校設定科目						3		0~3		
保健体育	体 育 7~8	3	3	2	2	2	2	2	2	7	
	保 健	2	1	1	1	1				2	
芸 術	音 楽 I	2	2							0~2	
	美 術 I	2	2							0~2	
	書 道 I	2	2							0~2	
外 国 語	英語コミュニケーションI	3	3							3	
	英語コミュニケーションII	4		4	4	4				4	
	英語コミュニケーションIII	4					4	4	4	4	
	論 理・表 現 I	2	2							2	
	ペーシクイングリッシュα	学校設定科目		2	2	2				0~2	
	ペーシクイングリッシュβ	学校設定科目			2	2				0~2	
スタンダードイングリッシュ	学校設定科目						2	2	0~2		
家 庭 情 報	家 庭 基 礎	2		2	2	2				2	
	情 報 I	2	2							2	
共通教科・科目単位数計			31	26~28	30	30	24~26	28	29	81~90	
家 庭	保 育 基 礎	2~6					ウ 2			0~2	
	フ ー ド デ ザ イ ン	2~6		ア 2						0~2	
体 育	ス ポ ー ツ II	2~6					ウ 2			0~2	
音 楽	演 奏 研 究	2~6					エ 3			0~3	
	ソ ル フ ェ ー ジ ュ	2~6					イ 2			0~2	
美 術	素 描	2~6					イ 2			0~2	
	情 報 メ デ ィ ア デ ザ イ ン	2~6					エ 3			0~3	
キ ャ リ ア デ ザ イ ン	情 報 活 用	学校設定科目		3						0~2	
	プ ロ グ ラ ミ ン グ 発 展	学校設定科目							1	0~1	
	プ ロ グ ラ ミ ン グ 応 用	学校設定科目					エ 3			0~3	
	デ ー タ サ イ エ ン ス 実 践	学校設定科目			1	1		1	1	0~2	
専 門 教 科 ・ 科 目 単 位 数 計			0	3~5	0	1	5~7	2	2	2~12	
総 合 的 な 探 究 の 時 間			3~6	1	1	2	1	1	2	1	3~5
自 立 活 動	0~2		0~2	0~2	0~2	0~2	0~2	0~2	0~2	0~6	
	1		1	1	1	1	1	1	1	3	
単 位 数 及 び 週 あ た り 時 数 の 合 計			33~35	33~35	33~35	33~35	33~35	33~35	33~35	99~105	
学 校 設 定 科 目 単 位 数 計			0	4~6	4	3~4	7~12	10	4~8	7~18	

(注)・地理歴史科の選択科目、数学III、物理、生物は2~3年次の継続履修とする。

・自立活動は、学校教育法施行規則第140条に基づき設定する障がいに応じた特別の指導。

資料：連携体制について



資料：「授業力向上プロジェクト事業」授業案

CoREF
知識構成型ジグソー法を用いた協同学習授業 授業案

学校名： 鳥根県立津和野高等学校 授業者：青木 穂乃美
教材作成者：青木 穂乃美

授業日時	令和6年9月24日 (火)	教科・科目	古典探究
学年・年次	第2学年	児童生徒数	27名
単元名	『源氏物語』「若紫」	本時/この内容を扱う全時数	2/12
教科書及び教科書会社	『探求 古典探究』古文編 (桐原書店)		

授業のねらい (本時の授業を通じて児童生徒に何を身につけてほしいか、この後どんな学習につなげるために行うか)
本時は、「若紫」を読む前、すなわち導入として行う授業である。本校の生徒は、古典に対して苦手意識や嫌悪感を持つものの、内容自体には興味を持ったり面白がったりしている。1年次に学習した『伊勢物語』や『土佐日記』など、作品の特徴をよく理解し、読解後には「面白かった」という声が聞かれた。毎回、読みながらあるいは読み終わってから「興味があった」「おもしろい」という声を聞くので、今回は「これから読む作品への興味関心が高まった状態で本文を読む」ということを試してみたい。そのため、本時のねらいは「源氏物語への興味関心を高めること」とする。興味関心が高まった状態で本文を読解することで、これまでのような「受身の解釈」から、「能動的に本文を解釈しようとする姿」が見られることを期待する。また、「若紫」読解後に光源氏の人物像を再確認し、読みの深まりを検証したい。

メインの課題 (授業の柱となる、ジグソー活動で取り組む課題)
『源氏物語』の魅力の一つである主人公光源氏の人物像を捉えよう

児童生徒の既知知識・学習の予想 (対象とする児童生徒が、授業前の段階で上記の課題に対してどの程度の答えを出すことができそうか。また、どの点で困難がありそうか。)
源氏物語を授業で扱うのは初めてなので、「イケメン」「カッコいい」「妻が多い」といった回答が予想される。

期待する解答の要素 (本時の最後に児童生徒が上記の課題に答えるときに、話せるようになってほしいストーリー、答えにまかれてほしい要素。本時の学習内容の理解を評価するための規準)
光源氏は多くの女性と恋仲にある。光源氏は単に整った容姿から愛されていたわけではなく、秀才で芸事にも優れ、自身は皇族ではないものの帝を父にもつという、まさに理想の貴公子であった。ただし、一夫多妻制とはいえ、気まぐれともとれる態度で女性を悲しませており、関係するすべての女性から純粋に慕われていたとは考えにくい。

各エキスパート対象の児童生徒が授業の最後に期待する解答の要素を満たした解答を出すためには、各エキスパートで抑えたいポイント、そのために扱う内容・活動を書いてください>

A 光源氏の恋愛模様
→3人の妻だけでなく、さまざまな女性と恋仲にあった。

B 光源氏のスペック
一容姿が良いだけではなく、武芸や学問にも優れ、政においても高い能力を発揮していた。

C 恋人から見た光源氏
一年以上で身分も高い六条の御息所を粗略に扱い、最終的に絶望させてしまう。

ジグソーでわかったことを踏まえて次に取り組む課題・学習内容
「若紫」を読解し、「藤壺」に執着する光源氏について考える。光源氏の行動の根拠には、亡き母の面影とその無償の愛を求めるが故の寂しさがある、ということを考えるようなジグソー活動で単元をまとめ、光源氏の人物像について、今回の導入ジグソーからの解釈の深まりを見たい。

本時の学習と前後のつながり		
時間	取り扱う内容・学習活動	到達して欲しい目安
これ まで	古典文法 (助動詞の復習)	助動詞を習得すると本文が理解しやすくなることを体感している。
前時	プレ課題	源氏物語について既知知識を確認している。
本時	ジグソー&クロストーク&ポスト	本文読解前の光源氏の人物像を自分なりにまとめることができる。 プレ課題の時点より、作品に対する興味関心が高まっている。
次時	「若紫」初読	興味を持った状態で本文を読んでいる。
この 後	「若紫」読解、まとめジグソー	光源氏の人物像を深く捉え直している。

上記の一連の学習で目指すゴール
・古典の最高傑作である『源氏物語』の奥深さを少しでも理解する。
・素読の筆力の高さに触れる。
・古典を現代に引き付けて深く読む面白さを味わう。

本時の学習活動のデザイン

時間	学習活動	支援等
3	前時の振り返り	
5	本時の説明、メイン課題の確認 《源氏物語の魅力の一つである主人公光源氏の人物像を捉えよう》	
4 10	エキスパート課題 (個人) エキスパート活動 (グループ) ・各班で、ジグソーに持っていく内容を 確認する	・個人で資料をよく読むよう伝える ・互いに読み取った内容を確認する よう伝える
13	ジグソー活動 ・ジグソー班でメイン課題に対する解答 を作成する ・作成した解答を chromebook でス ライドに入力する	・ABC それぞれの班の報告は、簡単 にメモするよう伝える ・すべての用をを組み合わせた解答 を作るよう伝える
7	クロストーク	・自分の班に無い視点や、印象に残 った表現などをメモしておくように 伝える
5	ポスト課題 ・メイン課題に対する解答を個人で入力 する	・ジグソー活動とクロストークをも とに、自分だけの解答を作成するよ う伝える。
3	本時の振り返りと次回の説明 (そんな主人公の物語が、なぜ1000年 以上読み継がれているのか? 最高傑作と 呼ばれるのはなぜか? その謎を解き明か すために、本文を読もう!)	・プレ課題と比べて、作品への興味 関心の度合いが変化したかを確認す る

グループの人数や組み方
エキスパート
A 8人 B 10人 C 8人 それぞれ 2人組 or 3人組 or 4人組
※座席で決定。2人組で話が進まないようなら人数を変える。

ジグソー
3人班×6、4人班×2
※各班、中心となる生徒が一人は入るよう、あらかじめ調整する

新時代に対応した高等学校改革推進事業
(普通科改革支援事業)
2024年度(令和6年度)第1年次 実施報告書
令和7年3月発行

【協力関係先】

株式会社さとくらし
株式会社 Nex-E
タイムカプセル株式会社
バルトソフトウェア株式会社
株式会社アドレス
島根県商工労働部産業振興課
津和野町つわの暮らし推進課
津和野町教育委員会

【執筆・編集】

松田哉(島根県立津和野高等学校長)
石原寛治(島根県立津和野高等学校教頭)
和崎陽子(島根県立津和野高等学校主幹教諭)
宮本善行(島根県立津和野高等学校元校長 コーディネーター)
宮島忠史(島根県立津和野高等学校前校長)
田原義崇(島根県立津和野高等学校普通科改革担当)
山根幸久(島根県立津和野高等学校普通科改革担当)

【発行】

島根県立津和野高等学校
〒699-5605
島根県鹿足郡津和野町後田ハ12-3
TEL:0856-72-0106
E-Mail:tsuwanokoko@pref.shimane.lg.jp
印刷:Design MAD

